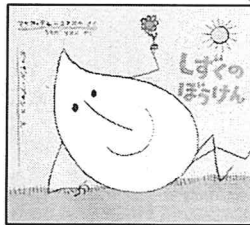


## あめの日の絵本

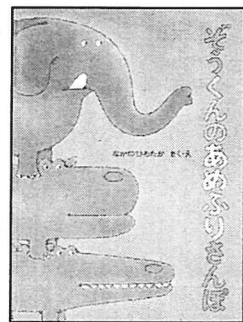


『ゆかいなかえる』  
ジュリエット・キープス 福音館書店

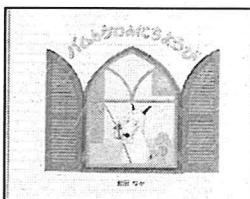
たまごからかえった4ひきのかえる。毎日仲良く遊びます。



『しずくのぼうけん』  
マリア・テリオフスカ 福音館書店  
バケツから飛び出した「しずく」の長い冒険の旅…。



『ぞうくんのあめふりさんぽ』  
なかのひろたか 福音館書店  
今日は雨降り。それでもぞうくんはごきげん。かばくんと一緒にお池の中を散歩します。



『バムとケロのちようび』  
島田ゆか 文芸堂  
雨の日曜日。サッカーもすなあそびもできない。そんな日には、ちらかったへやをかたづけて、おかしを用意して、本を探しに屋根裏部屋へ…。



小さい頃、父が毎日読んでいる新聞をびりびり破いて部屋中に散らかして、海を作った思い出があります。あとにも先にもこれ一回きりでしたが、雨で出かけられなくても楽しい一日を過ごしました。もちろん、後片付けが大変だったのもいい思い出です。

ほかにも迷路や家、動物園など楽しい工作が載っています。新聞を購読している家も少ないと思いますが、雨の日に家にあるもので遊ぶのも楽しいですよ。

『しんぶんしてつくろう』(よしだきみまる 福音館書店)

日	月	火	水	木	金	土
	6月					1 おはどん
2	3 休館日	4	5 おはすい	6	7	8 おはどん
9 11じ おはちび	10 休館日	11	12 おはすい	13	14	15 おはどん
16	17 休館日	18	19 おはすい 昔がたり	20	21	22 おはどん
23	24 休館日	25	26 11じ おはちび 4じ おはすい	27	28	29 すがたり おはなし会
30	休館日：毎週月曜日(祝祭日が重なった場合は翌日) 開館時間：平日 9:30~19:00 休日 9:30~17:00					

## おはなし会のあんない

**おはすい**  
毎週水曜日  
ごご4じ~4じ30ぷん  
第3水よう日は昔がたりの日

第4水よう日 **おはちび**  
第2日曜日  
ごぜん11じ~11じ30ぷん  
☆0~1さい向けのおはなし会  
♪てあそび、わらべうたなど

**おはどん**  
毎週土曜日  
ごご3じ~3じ30ぷん

1かいのおはなしコーナーでやっています。出入り自由。  
スタンプカードもあります。

館長の



# こども室の本棚から



毎月のことですが、今月は何を紹介しようかな？と悩みます。最近読んだ絵本や、季節のことなど考えながら選ぶのですが。今月は、花にしようかなあ、どうしようかなあ。と、図書館の書棚を見て、書庫の書棚を見ていた時、懐かしい絵本を見つけたので、紹介することにします。

季節的にも、今まさに毎晩一生懸命にゲロゲロ言っているカエルくんの話です。『かんがえるカエルくん』(いわむらかずお作 福音館書店 1996 年刊)を紹介します。これは、20年以上も前に小学生向けの月刊雑誌『おおきなポケット』に掲載されていた4コマ漫画(?)のようなお話をまとめたものです。ですので、小さいお子さんよりも小学生以上の子どもから大人までが、カエルくんと一緒にちょっと考え、ちょっと共感し、ちょっと笑っちゃうお話です。

主人公のカエルくんは、いろいろなことをよく考える哲学者のようなカエルくん。そしてこのカエルくんには、ネズミくんの友達がいいます。とても良い感じの相棒です。カエルくんの

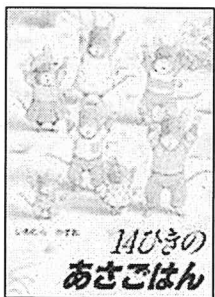


「かんがえるカエルくん」  
いわむらかずお 作  
福音館書店  
1996年

考えていることを、ちょっと一緒に考えたり、共感したり、楽しんだり・・・、あんまり考えなかったり、考えるのをちょっと休んだりします。

たとえば、ある日カエルくんは、木の上で、じーっと空を見て考えています。ネズミくんがやってきて、「なにかんがえてる・・・」「なにみてる・・・」「なにもみえないよ・・・」と言います。カエルくんが考えていたのは、「そらって、どこからそらなの？」ということ。青いところが空。雲が浮かんでいるところが空。トビさんが飛んでいるところも、トンボさんが飛んでいるところも、チョウさんが飛んでるところも、空？それなら、カエルくんとネズミくんのいる木の上の「ここもそら！」「なあるほど。」と、ここで読者も思うわけです。

作者は、「14ひきシリーズ」や「タンタンシリーズ」の作者いわむらかずおさんです。シンプルな絵の中で、絵的には点々でしかないカエルくんの目の位置や、ちょっとしたしぐさが絶妙で、空を見上げている二匹の様子、ぜひ絵本を手にとってみて下さい。おつきい子さん用の絵本です。



「14ひきのあさごはん」  
いわむらかずお 作  
童心社  
1983年



「タンタンのハンカチ」  
いわむらかずお 作  
偕成社  
1981年

## ☆おはなしポケットメンバーおすすめ本☆

『どれがぼくかわかる?』カーラ=カスキン ぶん・え よだしずか やく

偕成社 1970年

ウィリアムのおかあさんは、ウィリアムのことならなんでもしています。だからウィリアムが馬になったって、スカンクになったって、ひつじになったって、アヒルになったって、みんなの中からすぐ見つけ出してしまうのです。

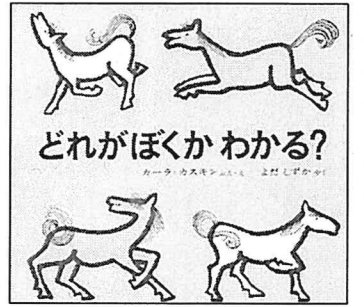
「どれがぼくかわかる?」

「ウィリアム、おかあさんにはわかるわ」

このやりとりが何度も繰り返されます。

どんな姿になっても、どんなにたくさんの子どもたちの中に紛れていても、自分の子どもをすぐに見つけられるおかあさんの愛情を感じられる本です。

どれがぼくかわかる?と読んだ後、子どもにウィリアムを探してもらうのも楽しいですよ。



おはなしポケット よっしー

## てあそび\*わりべうた やってみよう\*

### 『たけんこが はえた』

「春のたねまきおはなし会」でもうたったわりべうたです!



① たけんこが はえた  
たけんこが はえた



11歳  
Ver.

② ぶんこ ぶんこ  
さるがえり



引用文献: コダーイ芸術教育研究所  
「新訂 わりべうたであそぼう」



子ども  
Ver.

おはなし会では  
さるのく形を  
つかって  
あそびました



「さるがえり」は  
手を持って  
おなかの輪を  
一回転!